資料1

議題１　夏季休業日の短縮による授業実施の課題と解決策について（春日井市提出）

市名	回答	
	（1）工夫していること	（1）課題と解決策
名古屋市	小・中・特別支援学校においては週あたりの授業時間数を１時間増とした。また、冬季休業期間を短縮（12月24日・25日　1月5日・6日の4日間を授業日）する。 授業内容を補助するため、中学校及び高等学校の生徒が各家庭で自学自習することができるオンライン学習教材アカウントの配付など、オンライン学習ができる環境整備をする。	対話的な学習、音楽科の歌唱・器楽演奏、体育の集団種目の実施ができないことが大きな課題となっていた。7月より、文部科学省等のガイドラインを基に、感染症対策を講じた上で、行うことができるように通知を出した。
豊橋市	７時間目の設定。	各教科において対策・配慮が必要なものがあるが、対策マニュアルに沿って実施。 ・共用の器具・用具等を使用する際には手洗いをする（理科・体育など） ・歌唱や身体の接触などを避ける（音楽、英語など）
岡崎市	・一コマの授業時間の短縮（小学校４０分、中学校４５分）し、１日７コマの目標とする。 ・帯時間を活用し、授業時間を生み出す。 ・行事の削減、内容見直しにより授業時間数を確保する。	・３密を防ぎながらの暑さ対策→空調設備、扇風機の有効活用 ・飛沫予防に向けたマスクやフェイスシールドの活用→熱中症予防との両立に向けて、過度の着用とならないよう工夫している。 ・実技教科の実施→どうしても密になりがちになったり、飛沫が危惧されたりする活動を教育課程の後に設定したり内容変更をして実施する。
一宮市	・行事等の見直し ・時間割の見直し ・モジュール学習の実施	【課題】教室内が密の状態になってしまう。 【解決策】35人以上の学級では、特別教室等を活用してクラスを2つに分けて指導する。 【課題】授業中に熱中症になる恐れがある。 【解決策】エアコンの使用やマスクの脱着について周知徹底する。 【課題】夏季休業日の短縮による授業実施により、予定されていた教職員の会議・研修等の実施ができなくなった。 【解決策】オンライン会議やｅラーニング研修を実施するなどして対応する。
瀬戸市	夏季休業日の短縮、作品展の中止、会議や研修の精選	夏季休業短縮による熱中症対策のため、授業日となった日に一人一本500mlの水を配付する。 また、給食調理員に空調服とスポットクーラーを購入した。
半田市	・夏季休業期間を８月８日～８月２０日の１３日間に大幅に短縮し、授業時間を確保した。（学校管理規則を変更し、１学期と２学期の期間を本年度のみ変更した。） ・学習内容の精選、重点化をおこなった。 ・行事の精選をした。 ・教員研修、出張等の精選または中止。	・熱中症に対する対策が最大の課題である。エアコンの活用、塩タブレットの配布、体操服での授業・登下校、日傘の利用、水分補給の徹底、学校の水道に浄水器の設置、空調機の設置のない特別教室には冷風機の導入、子ども１１０番の家等による登下校の見守り・休憩場所の確保等を行う。
春日井市	・行事の精選：　本当に必要な行事および、その取組方法について精選し、授業時間の確保を目指す。 ・カリキュラム・マネジメントの推進：　教科が異なっても類似の内容のものについては、まとめて指導を行う。また、知識・理解については、臨時休業中に課題を出し、授業動画の配信を行ったことにより時間を短縮した指導を可能とし、こうしたカリキュラム・マネジメントの推進を図り、効率的に授業を進める工夫をした。	・夏季休業日の短縮による課題：　時期的に最も懸念されるのは熱中症である。特に小学生は５時間授業後の最も暑い時間に下校することとなり、日傘やネックスカーフ、帽子等の対策に加え、下校途中の子どもたちが休憩して涼をとることができる「子ども休憩室」を商工会議所や青年会議所と連携して地域に依頼し確保する。これにより、長距離を歩く児童も安心して下校することができ、また、大人の目が行き届くことで保護者、学校も安心感につながった。 ・行事の精選による課題：　行事の精選に伴い、野外学習を始めとする様々な行事を中止は、子どもたちのやる気が失われることが心配されている。しかしながら、コロナ禍のもと感染症対策を講じ、実施可能な行事を行うことにより他者との協働的な学び合いという学校教育の良さが失われないよう検討している。 ・感染症対策による課題：　近年重要視されている話し合い活動は、ソーシャルディスタンスを講じて、これまでと同様に行うことは困難。こうしたことから、ICTの活用など、上手く意見交換しあう方法を検討していく。本市において、「ICTの活用による分かりやすい授業づくり」に長年取り組んでおり、今後は感染症対策を踏まえた効果的なICTの利活用について進めていく。コロナ禍のもと、感染症対策上、子ども同士、教師と子どもの触れ合う場面は減少していく傾向にあり、道徳の授業や学活などの場で心と心が触れ合う場面を意図的に設定するなど、「人と人との関り」を大切にした教育を進めていく。
豊川市	学校行事の実施時期や実施方法の見直し、時間割編成の工夫	ペア活動、グループ活動が制限されるため、主体的、対話的で深い学びが十分に行えない。解決策は、今のところ見つかっていないが、現状でできる活動をどのように工夫すればより効果的になるかを検討していく。

資料１

議題１　夏季休業日の短縮による授業実施の課題と解決策について（春日井市提出）

市名	回答	
	（1）工夫していること	（1）課題と解決策
津　島　市	授業時間確保のために、行事の精選や研修や会議等の効率化や回数の見直しを進める。	授業実施の課題としては、以下の点が挙げられる。 ・１クラスの児童生徒数が多い学級での適切なソーシャルディスタンスの取り方の工夫。 ・３密を避けるために対話活動、グループ活動などの制限。 ・音楽科における歌唱指導の制限と実施する場合の工夫。 ・家庭科における調理実習の制限と実施する場合の工夫。 ・体育科における児童生徒が密集する運動や接触する運動の制限と実施する場合の工夫。 ・児童生徒が使用した教材・教具の消毒の徹底。 こうした課題に対して、以下のように取り組んでいる。 ・長時間の集団生活を避けるために、１日の授業時間数や１単位時間を削減する。 ・教室よりも広い特別教室で授業を行ったり、使用しない机や椅子、棚等を教室の外に出して少しでも空間を広く取れるようにしたりする。 ・技能教科など活動が制限される教科については、単元を入れ替かえて、実施時期を変更する。 今後も文部科学省通知「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」や「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等について」を踏まえながら、適切に学習活動を行う。
碧　南　市	例年行っている学校行事を見直し、授業時間の確保を行っている。また、週当たりの時間数（小学校１時間、中学校３時間）を増やして、授業を実施している。	時間数を増やした曜日については、ゆとりのある日課ができず、児童生徒に負担がかかっていると思われる。また、教職員にもゆとりがなくなっており、負担感が大きい。
刈　谷　市	授業時間数確保のため、運動会、体育大会、文化祭等の学校行事を見直し、準備、運営等の簡素化を図っていきます。また、今後の状況に応じて、国の指針に従い、１時間あたりの授業時間を短縮し、７時間授業を行うことや、冬休みの短縮等も視野に入れながら、授業時間数を確保していきます。	授業実施における課題は、すべての学年において学習内容を履修できるようにすることであります。そのため、各教科別、学年別に、６月の学校再開時から年度末までを見通し、実施可能な授業時間数を算出し、子どもたちに身に付けさせたい力をもとに、カリキュラムの組み替えや時間数の調整を行い、年間指導計画の再構成に取り組み、現在授業を行っています。
豊　田　市	・１単位時間を短縮し、児童生徒に無理のない範囲で１日に７コマ実施する。 ・運動会、学芸会、文化祭などの練習時間の削減や、見直しなどを行い、行事等の削減から授業時数を確保する。	・夏季中の授業日は、児童生徒の負担や熱中症防止を考えて、１１時頃の下校を示している。 ・授業時数の確保を進める反面、熱中症の心配も大きくなる。翌日のＷＢＧＴの予報値が高い場合には、無理することなく各学校が判断し、休校や早下校等の措置をとることも推奨している。
安　城　市	○学校ごとに対応 ・行事の精選　　・６時間日課を増やす　　・帯時間の活用	○感染防止対策と熱中症予防対策の両立 ・換気しながらのエアコン使用　〈登下校〉・日傘の利用　・ネッククーラーの利用
西　尾　市	・１授業時間を５～１０分ほど短縮し、家庭学習として短縮分を学習するようにしました。 ・１日を７時間授業にするなど、授業時間を増やしました。 ・従来の夏季休業を短縮して１日授業日とし、授業時間を増やした。（１８日間）	（学校教育課）熱中症対策として、夏季登校期間中は、15時30分以降を下校時間としました。それにあわせて、毎日給食も実施します。 （教育庶務課）児童生徒の午後からの学校生活や下校時の水分補給を保障するため、夏季登校期間中は、毎日、ペットボトル（水500ml）１本を全児童生徒に配付します。
蒲　郡　市	・行事の見直し（内容の精選・準備時間の削減・開催時期の延期、中止） ・夏休みの短縮	各教科スタディプランを作成（教科主任、指導員を中心に作成）
犬　山　市	カリキュラムの再編成・夏休みの短縮・７時間目の設定・週内の時数を増加・帯時間の設定・行事の時間数を精選・市教委主催の学習補充「学びガイド犬山」開設	時間のやりくりをして、ある程度の時数を挽回できるが、見える物（時数）として保護者が納得できる物を提示することが難しい。 学校の活動を支援するために、市教委が４・５月の臨時休業期間中の学習補充のために、「学びガイド犬山」を日曜日と夏季休業中に実施する。
常　滑　市	「授業時間数確保のため」の取組ではないが 密をさけるために中止した行事（林間学校等）に関する時間を教科指導に割り振り	・技能教科で特別教室が暑さのため夏場に使用できない　→単元の入替で対応 ・水泳授業の中止（安全指導のみ実施） ・グループ活動や話し合い活動の縮小・中止 ・できる活動を中心に、単元の入れ替えや学習過程の組み換えを行っているが、今の状況がこのまま続いた場合の対応が新たな課題である。
江　南　市	授業時数の確保のため夏季休業を短縮し、通常授業日13日間と半日授業日５日間を確保。また、学校によっては、１日の日課を見直して１日７コマ実施するなどの工夫をしている。	夏季休業を短縮したことによる登下校時の熱中症対策。日傘や冷却タオルなどの使用を認め、全児童生徒へのペットボトル（水）の配付等で対応する予定。
小　牧　市	・夏季休業日の短縮により授業日を13日設定するが、その際、授業時間を短縮することで、午前中に5時限の授業を行う。 ・2学期以降も授業時間を短縮することで1日あたりの授業時数を最大7時限に拡大する。 ・学校行事の計画・内容・準備期間等を見直し・縮小することで、授業時数を確保する。 ・日々の朝学習の時間を授業時間とする。 ・8月3日から8月7日までの一週間を、一斉授業ではなく、生徒一人ひとりに寄り添い、それぞれの学習状況に応じて、学習した内容を丁寧にフォローアップする「フォローアップ週間」として、中学校において設定する。	・教育活動全般のバランスを考えながら、児童生徒のストレスが増大しないように努める必要がある。

資料1

議題１　夏季休業日の短縮による授業実施の課題と解決策について（春日井市提出）

市名	回答	
	（1）工夫していること	（1）課題と解決策
稲　沢　市	特になし。	夏季に授業日を設けるにあたっての熱中症対策 登下校時に日傘の使用・体操服の着用を認める。
新　城　市	中学校では、４５分授業を７コマ実施する7時間授業日を設けます。これにより、１日当たりの総授業時間は１５分増えますが、教育課程を広く着実に進めることができます。	授業時間の確保以上に大切なのが、授業者である教師が、児童生徒の学習意欲の向上に十分留意した授業づくりを行うことです。そのために、市教委主催の教師の研修会や出張業務、部活動指導等について、可能な限り休止することにより、教師が、授業づくりに専念できる時間と環境を整えています。
東　海　市	家庭訪問の休業中実施。分散登校時に年度初め学級活動（係・委員会・生徒会等）を実施。学力テスト、体力テスト、小学校の林間学習・水泳授業民間施設活用等事業、中学校職場体験学習、姉妹都市交流事業の中止、健康診断の延期、火災・地震等避難訓練の実施方法の工夫等の行事の精選。	体育授業の際の熱中症対策として、こまめな水分補給やスポットクーラーを設置する予定。
大　府　市	・学校行事を一部中止し、授業数を確保する。 ・今年度に限り、小学校での評価をを２期制にする。	非常勤講師などの時間数の不足
知　多　市	学校行事の実施時期や実施方法等の見直しを図り、中止や縮小することで授業時間を確保している。	もともと夏季休業中に八幡給食センターの釜の改修工事を予定している。今回、夏季休業日が短くなることで給食の提供が課題となった。直接搬送できもので献立を立てることで対応した。 また、小学校は熱中症への対策として、３時間授業の対応とした。その決定に至っては、年度末までに授業時間が確保できることを各校で確認することで判断した。しかし、近隣市町と対応が異なるため、保護者から意見をいただいている。
知　立　市	知立市は夏季休業を短縮し、本来夏季休業であった7月21･22日は1日日課の授業日、７月27日から8月7日までの平日と8月24から8月31日までの平日は半日日課の授業日とした。 また、授業時間を小学校では、40分間に、中学校では45分間に短縮し、生み出された時間で7時間目の授業を実施し、授業時間の確保に努める。学校行事も見直し、同様に授業時間の確保を図る。	左記の授業時間の工夫を図ることによって、規定されている年間授業時間数を満たすことが予想されるので、課題はない。
尾 張 旭 市	・夏季休業日の短縮（８月１日～８月２３日） ・行事の精選	・本来の夏季休業日に授業を行うため、熱中症対策として飲料水の配布を行う。 ・行事の目的と照らし合わせ、行事の実施可否等を検討している。
高　浜　市	・夏季休業の短縮。 ・学校行事の簡素化もしくは取りやめによる。 ・帯時間の活用。 ・５時間授業日を６時間授業日とする。７時間授業日の設定。	臨時休業により失われた時間を完全に取り戻すことはできない。教育課程を実施した証を時間数ではなく、子どもたちについた力で判断する転機となる。どんな力をつけさせるために何をどう学ぶのか、改めて考えるよい機会としたい。
岩　倉　市	読書タイム等に充てている朝の活動の時間の活用、本来５時間授業であった日の６時間授業への変更、カリキュラムの圧縮、行事の精選・縮小など、様々な工夫を凝らして学習保障に向けて取り組んでいます。	今後暑さが増していく学校生活において、コロナ感染予防と同様に熱中症対策にも取り組まなければならないと考えています。そのため、熱中症対策グッズの使用など保護者からの申請については、柔軟に対応して児童生徒の安全に配慮するとともに、登下校時も含め、適宜水分補給をするよう指導し、児童生徒の健康管理にも努めていくことにしています。
豊　明　市	朝の学習の時間を授業として実施、６時間目設定（小）、準備の必要な行事内容を検討し授業時間を確保。	限られた時間数の中で、教育課程をどう実施していくか→学習内容を組み合わせる、指導方法を工夫するなどして実施したり、発展学習を家庭学習での取組としたりする。
日　進　市	・モジュール学習を当初の予定よりも多く実施している。 ・行事の精選（朝会や集会を少なくする） ・会議のない木曜に6時間目を設定する。 ・総合的な学習の時間を教科に振り替えて実施している。 ・水泳や調理実習の時間を教科に振り替えて実施している。	今後検証していく
田　原　市	１　教育課程の再編成 生活科、総合的な学習の時間の内容から教科への関連付けを図る ２　指導時間の短縮 昨年度分の未履修内容は、本年度の学習内容と関連させ、導入前の復習と兼ねて学習場面を設定する。 ３　行事の見直し 準備時間を大幅に縮小しても実施できる内容に移行する 対応策について市内で統一している事柄はない。ただし、各学校で検討する際の留意点として、以下の点については共通理解を図っている。 ＜留意点＞ ❑授業時間数を合わせることばかりにとらわれないこと ❑これまでの学びの在り方を見直す機会とすること ❑安易に行事を削減し、子どもの意欲や楽しみを奪わないこと	＜感染症対策と学習制限について＞ ・音楽では歌唱、器楽演奏等の表現活動を2学期以降に移行し、鑑賞やリズム遊びなどを前倒しして学習する ・体育では、個人で取り組める運動を優先して行う ・家庭科の調理実習は2学期以降に移行し、裁縫の実技を先行学習する
愛　西　市	夏季休業日を8/8（土）～8/23（日）とし、その他の平日は授業日とした。 月曜日は5時間授業、火曜日～金曜日は6時間授業として時間数を確保した。	登下校における熱中症への不安から、低学年の下校時刻を高学年に合わせ、一斉下校を基本とした。
清　須　市	行事の削減、冬期休業日の短縮、７時間目授業の実施（中学校）	夏季休業期間短縮による授業実施に伴う熱中症対策

資料1

議題１　夏季休業日の短縮による授業実施の課題と解決策について（春日井市提出）

市名	回答	
	（1）工夫していること	（1）課題と解決策
北名古屋市	・行事の精選 （小学校の学習発表会を中止。 学校公開日の中止。例年だと、土曜日等に半日日程で行い、月曜日を代休日とする学校が多かった。その他の行事も学校単位で精選しているものが多々あり。） ・行事の縮小 （小学校の運動会、中学校の体育大会、中学校の文化祭などを１日日程から半日日程などに縮小。それに伴い、練習時間なども縮小。小学校の自転車安全教室を時間短縮。その他の行事も学校ごとに縮小しているものが多々あり。）	・新型コロナウイルス対策 ３密をさける、手洗いの徹底、施設等の消毒、 給食時や授業時のフェイスシールドの着用、給食時の1人１個のお盆 ・熱中症対策 体育時・部活動時 身体距離を十分（２m以上）確保したうえで、マスクを外しても可 登下校時 ・中学生の体操着可 ・身体距離を十分（２m以上）確保したうえで、マスクを外しても可 ・帽子や日傘・雨傘の活用を推奨 ・ネッククーラー使用可
弥　富　市	・感染リスクの高い行事を中止する。 ・行事の持ち方を見直し、少ない練習時間でできるようにする。	課題：水泳を全面的に中止したため、体育の授業をどのようにするか。 解決策：激しい動きを伴う単元は避ける。 教科の入れ替えで対応する。 保健の分野を優先的に行う。
みよし市	・授業時間を確保するために、夏季休業期間を8月8日から8月23日までとするとともに、行事等の精選、実施方法の見直し等を行った。	・事業実施にあたり、熱中症対策と給食が課題に挙がったため、7月21日から8月7日、8月24日から8月31日の授業日を午前だけの半日授業とした。
あ　ま　市	・行事の精選（学習発表会の中止、各種行事の中止・削減、内容・準備の簡素化等） ・カリキュラムの見直しを行い、「ここは外せない、じっくり時間をかける」という学習内容と「あまり時間をかけずに進める、家庭学習で取り組ま　せる」という学習内容を意識して、臨時休業後に残された授業時数で効率よく授業を進めるように各学校に依頼している。 ・夏季休業中は、熱中症のおそれもあるので、体育の授業数は最低限に抑えて、他教科の授業時間に充てる。	・三密を避けて授業を進めることが課題。解決策としては、グループでの活動を控える、座席の間隔をとる、空き教室等を活用し、1つの教室で授業を受ける児童生徒の人数を減らす等を行っている。
長久手市	１時間あたりを４０分あるいは４５分で設定 平日の６限、７限の設定 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間、行事などを精選し、時間数・規模等を縮減	さらなる臨時休業になった場合、モジュール実施や６限・７限の時間数増加 その都度の学習進行状況の確認とカリキュラムの見直しの課題に対して、各教科書会社のカリキュラムを参照